

授業科目 小児看護学実習	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 臨地実習		
授業担当者 秋山 祥子 (専任教員)	開講時期	単位数	時間数
	前期～中期	2 単位	90 時間
<b>授業の目的</b> 小児の特徴を理解し、小児の健全な成長・発達を促すとともに、健康上の問題をもつ小児とその家族に対し、看護援助を実践する基礎的能力を養う。			
<b>授業の目標</b> 1. 健康な乳幼児の発達過程と日常生活の実際がわかる。 2. 病気や入院が、小児と家族におよぼす影響を理解し、援助のあり方がわかる。 3. 患児の発達段階と病状に応じた看護過程の考え方がわかる。 4. 小児の安全を守るために必要な援助ができる。 5. 小児の権利や最大限の利益を考えて行動できる。 6. 乳児期の健康生活の保持・増進のための健診内容がわかる。 7. 小児医療チームの一員としての看護師の役割がわかり、看護学生としての責任を果たせる。 8. 看護実践を通し、研究的態度を身につけ、自己の看護観を高められる。			
<b>授業概要</b> 日常生活の中で子どもの姿を目にすることはあっても、接する機会は少なくなっている。保育所に通園している乳幼児と関わることで、学内での学習内容と子どもの実像とを結び付け、子どもの特徴を具体的に理解してほしい。 病棟は少子社会の影響と、入院による弊害をできるだけ防ごうとする小児医療の考え方から、入院児が少なくなっている。一方、小児血液疾患の治療を専門に行っている病棟であることから長期に入院している児もいる。さまざまな状況にある患児とその家族との数少ない関わりや見学の機会を大切に、気持ちを理解するとともに、関わり方や援助方法を学んでほしい。 また実習の中で常に自分に「子どもとは？」と問いかけ、子どもの権利を尊重した関わりとはどういうことなのかを考え、実践につなげてほしい。			
<b>授業計画（進め方）</b> ○保育所実習 1. 保育所実習は檜山保育園またはウェルビューいずみこども園のいずれかで4日間行う。 2. 保育所に通う乳幼児との遊びや日常の世話をしながら、乳幼児期の子どもの成長発達の特徴や関わり方を学ぶ。 ○病院実習 3. 入院中の患児を受持ち、看護の過程を展開する。 4. 見学や実践を通し、小児看護技術を学ぶ。 6. 体験したことを学生間で交流し、様々な発達段階および疾患看護に関する学びを広げる。 7. カンファレンスを通し、子ども観・小児看護観を養う。 ○乳児健康診査 1. 水曜日の午後、小児科外来で行う。 2. 見学が主であるが、実践として乳児の身体計測を行う。			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院 山元恵子 写真でわかる小児看護技術～小児看護に必要な臨床技術を中心に～ インターメディアカ			
<b>参考書・指定図書</b> 筒井真優美 小児看護学～子どもと家族の示す行動と判断のケア～ 日総研 渡辺新 君の病気について知ろう 小児白血病 南山堂			
<b>評価の方法</b> 小児看護学実習評価表に沿って評価する。			